

第 I 部 ねぶた・ねぶたのカリキュラム開発

～弘前市立北小学校 4 年生でのだるまねぶた制作～

カリキュラム開発は、カリキュラム編成（計画）－実践(実験授業)－カリキュラム評価のフィールドバックにより展開される。我々は、当初小学校プラン、中学校プラン、高等学校プランを編成し、青森市、弘前市の小・中各校、計 4 校で実験授業を実施する予定であった。しかし、それは不可能であった。実施できたのは、プロジェクト事務局長の鎌田さんの母校で、地域ねぶた祭りが盛んな、弘前市立北小学校のみとなった。各小・中学校は今「教育改革」に追われ、授業時間確保のため新たな行事等を引き受けることが大変困難な状況である。その条件下で、北小の先生方には大変なご負担をおかけした。

第 1 章 指導計画

第 1 節 弘前市立北小学校への提案

はじめに、弘前市立北小学校でだるまねぶた制作を行うにあたり、「青森県の伝統文化であるねぶた・ねぶたの技法を知り、伝統文化への意識向上を目指す」「絵（平面）から形（立体）になるまでの流れを知る」ことの二つを目的とし、以下の授業案を提案した。

時間数	内容	材料・道具
2	●導入、下絵製作 ・授業の概要、作り方の説明 ・下絵の製作 ・制作用紙への下絵の記入	・制作用紙
4	●台、骨組みの制作 ・木材を用い、人形部分をのせる台の制作 ・針金を用い、人形部分の制作。針金は糸とボンドで接着する ・台には印刷した高欄の絵を貼る	・木材 ・釘、金槌 ・針金 ・糸、ボンド ・ペンチ ・高欄の絵
2	●人形部分の紙貼り ・人形部分の骨組みに 1 マスずつ紙（和紙）を貼る	・和紙 ・はさみ ・ボンド
4	●墨描き、ロウ入れ、絵付け ・下絵に基づいて墨描きする ・墨の上からロウを入れる ・下絵に基づき、染料で着色を行う ・台と人形部分を接着する	・筆 ・墨 ・ロウ ・染料

この計画は1班7人程度での作業を想定し、針金、木材、和紙はあらかじめある程度の大きさに切ったものを下準備として用意するものであった。時間数は計10時間を想定した。この指導案と共に提示した骨組み制作の資料は次の通りである。

骨組み制作風景

制作者：弘前大学1年沼田萌生 制作日：2011年2月18日 場所：弘前大学教育学部

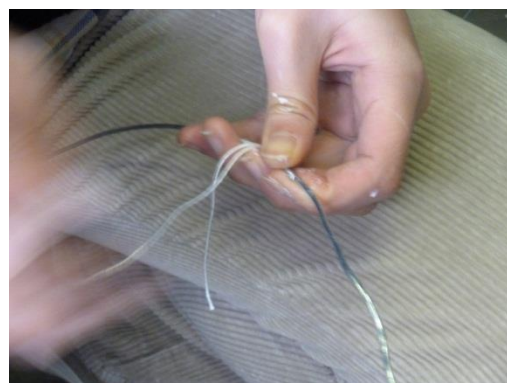
1、材料



2、製作手順



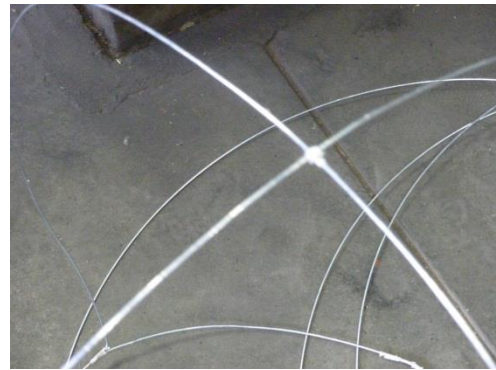
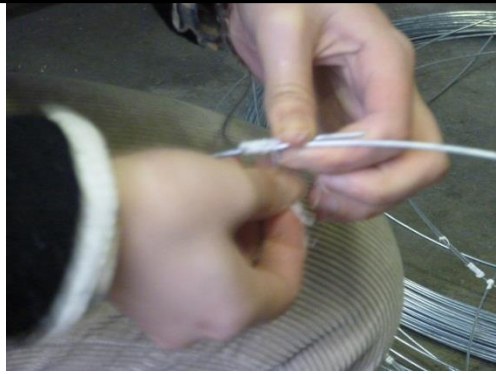
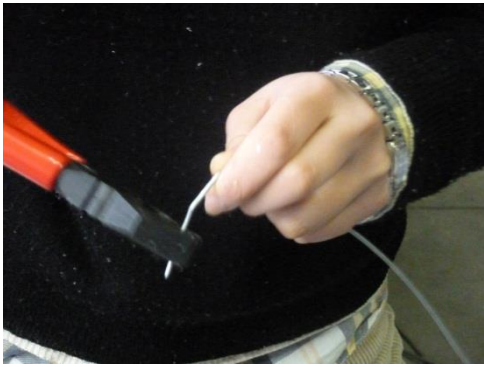
見本に合わせて、針金を切る



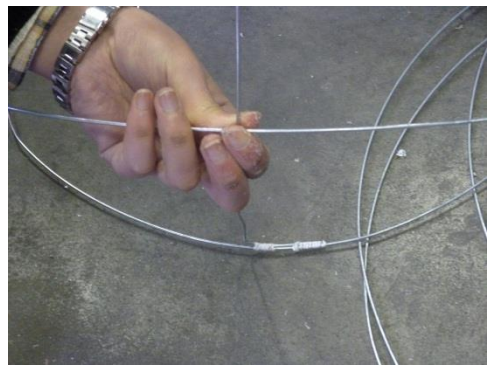
ボンドをつけながら糸を巻き接着する



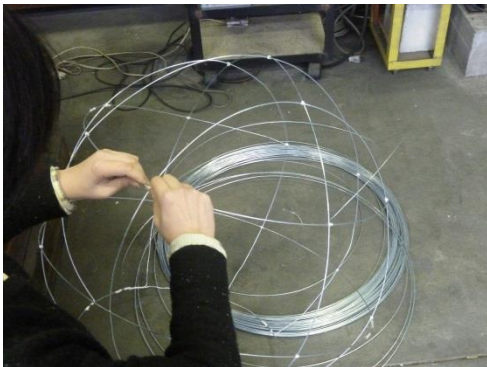
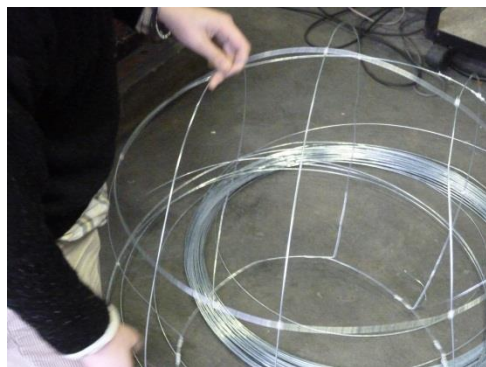
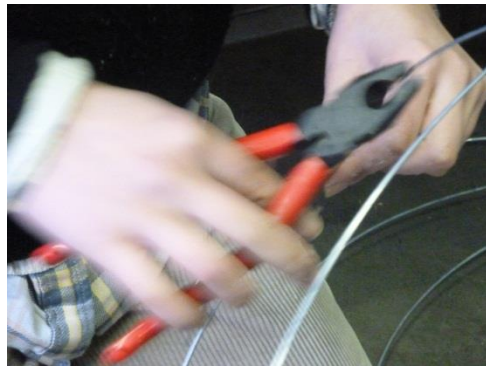
土台部分の完成



人形の高さを決める



横に輪を二つ接着する



縦に針金を二本足し、完成

3、制作時間

土台制作 6 分、高さ制作 26 分、横方向の輪の制作 (2 本) 26 分、
縦方向の針金の接着 (2 本) 39 分
合計 2 時間 37 分

この提案に対して、学校側からは「時間数が厳しい」「小学生でも作れるだろうか」という意見が届き、計画の見直しが必要となった。

その後、学校側との話し合いより、授業数を 1 回 2 時間 (授業 1 時間 45 分)、3 週間にわたり合計 3 回、6 時間の実施と定め、作業に不足が出た場合は放課後を利用し補うこととした。これを踏まえ、作業を簡略化するため、骨組みを、あらかじめ用意した部品を組み立てるといった形のものに変更した。

第2節 弘前大学教育学部技術科での模擬授業

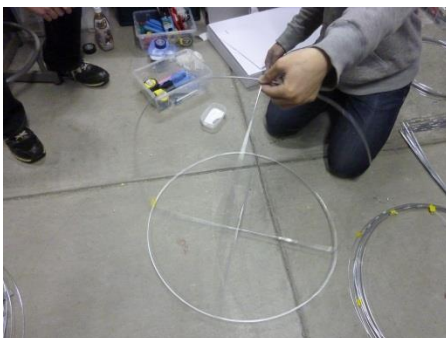
北小学校での制作を想定し、事前に大学生を対象として模擬授業を行った。この時点では変更後の骨組みを制作した。また、人形を「だるま」とし、普及している「金魚ねぶた」に鑑み「だるまねぶた」と命名した。制作手順は以下の通りである。

だるまねぶた制作手順

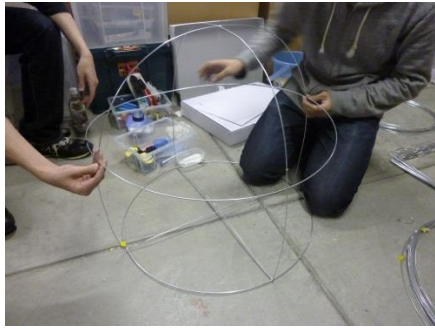
1、使用する道具



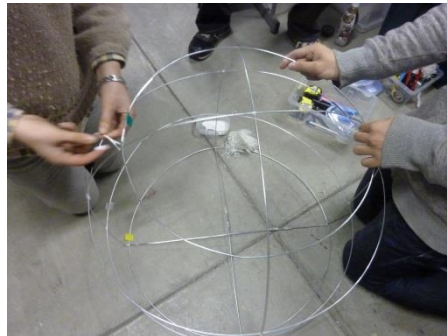
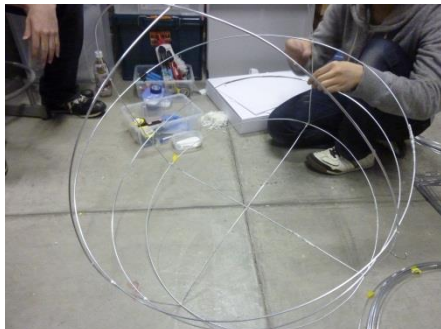
2、制作手順



土台（黄）と高さ（大）2つを土台が外側に来るように固定する。



中央に輪（青）を固定する。



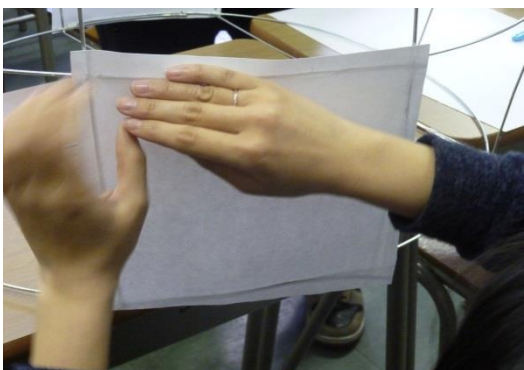
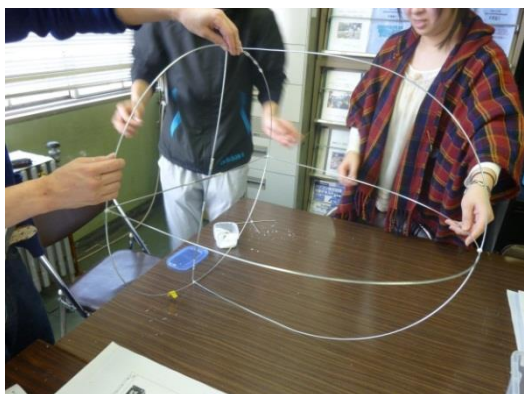
土台（黄）と輪（青）の間に輪（灰）、輪（青）と頂点の間に輪（緑）をそれぞれ固定する。



高さ（小）を2つ固定する。

この模擬授業には、大学生3人程度を1グループとして制作を行った。1回50~90分程度を使い、1回目を骨組み制作、2回目を紙貼り、3回目を絵付けとし、3回にかけて実施した。骨組みは時間内に余裕をもって制作を行うことができたが、紙貼り、絵付けは時間内に終了することができず、それぞれが大学の講義等の空き時間を用いて完成させた。

この実践から、授業時間だけでの完成は難しいが、放課後も活動可能であること、また、制作手順からも小学生にも制作可能であると判断し、この制作手順での実施を決定した。この際の実際の制作風景を以下に示す。



第3節 指導計画

第1節、第2節を踏まえ、以下のように指導計画を再編成した。

ねふた出前授業第1回（1／3）

日 時：平成23年6月3日（金）
場 所：弘前市立北小学校体育館
対 象：弘前市立北小学校4学年
授業者：山内 勇輝

【ねらい】

骨組みの制作を通して、平面から立体へのおこしかたを知る。

【展開】

時間	学習活動	予想される児童の反応	補助者の動き
導入 10分	1、「弘前ねふた」の歴史から「だるまねふた」制作の位置づけ、意義を知る。 ・模造紙を用いて説明する。 ・クイズを交えながら説明を行う。		
展開 65分 (休憩5分はさむ)	2、制作方法の説明（15分） ・教師の説明の後、制作の練習を行う。 (練習は、糸を使わずに1回、糸を使って1回、ボンドをつけて1回の計3回行う。) 3、骨組みを制作する。 ・テープの色を確認しながら、骨組みを組み立てる。	・糸の巻き方がよくわからない。 ・ボンドが手についてベタベタする。 ・固定した部分がぐらぐらする。 ・左右均等にならない。 ・骨組みがゆがんでしまう。 ・針金が曲がってしまった。 ・針金が立体になってすごい。 ・耳をつけたい。	・担当班に入り、制作の補助を行う。
まとめ 15分	4、WSに下描きをする。 ・制作が終わった班から片付けをする。 ・片付けの終わった班は、	・骨組みが終わらない。 ・何を描いたらいいだろう。	

	WS をもらい、下絵を描く。 5、感想発表 ・制作してみたの感想を発表する。		
--	--	--	--

第1節の計画で予定していた「台の制作」は時間の都合上難しいと判断し、第1回の授業実施後（放課後）、学校の教室を借り、大学生で制作を行い、第2回の準備を行った。

ねふた出前授業第2回（2／3）	
	日 時：平成23年6月10日（金） 場 所：弘前市立北小学校オープンスペース 対 象：弘前市立北小学校4学年 授業者：鎌田 沙穂
【ねらい】	組ねふたの制作過程である紙はりを体験する。

【展開】

時間	学習活動	予想される児童の反応	補助者の動き
導入 10分	1、制作方法の説明 ・台に描かれている花の種類や、ねふたに使われている紙の種類を知る。 ・紙はりの仕方を知る。 ・模造紙を用いてクイズを交えながら説明する。	・和紙はつるつるした面と、がさがさした面がある。 ・すぐ破けてしまいそう。	・前回のWSを回収する。
展開 65分 (休憩5分はさむ)	2、骨組みを台に固定する。 ・台にぼたん絵を貼り、台の上に骨組みを固定する。 3、紙はりをする。 ・骨組みに1マスずつ紙を貼る。	・上手く型がとれない。 ・小さく切ってしまった。 ・紙が綺麗に貼れない。 ・下の部分がうまく貼れない。 ・貼った紙を破いてしまった。	・担当班に入り、制作の補助を行う。
まとめ	4、片付け		

15分	<ul style="list-style-type: none"> ・終わった班から片付けをし、手を洗う。 ・自分たちが使った場所の周りを掃除する。 <p>5、感想発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作してみたの感想を発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙はりが終わらなかった。 ・早く絵を描きたい。 ・立体に描くのは難しそう。 ・紙がぼこぼこしてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみが落ちていないか確認する。 ・道具がすべて返却されているか確認する。
-----	--	--	--

回収したワークシートから色付けに必要な色を確認し、大学で準備を行った。

<p>ねふた出前授業第3回（3／3）</p> <p style="text-align: right;">日 時：平成23年6月17日（金） 場 所：弘前市立北小学校体育館 対 象：弘前市立北小学校4学年 授業者：山内 勇輝</p> <p>【ねらい】 だるまねふたの絵付けを通し、ねふたに対する興味・関心を高める。</p>	
---	--

【展開】

時間	学習活動	予想される児童の反応	補助者の動き
導入 10分	<p>1、制作方法の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・墨書き、ロウ入れ、色付けの仕方を知る。 ・ロウ入れをした場合と、しなかった場合の比較を行い説明する。 		
展開 65分 (休憩5分はさむ)	<p>2、墨書きをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下書きをしてから墨書きをする。 <p>3、ロウ入れをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・後ろの絵はどうなるんだろう。 ・立体に描くのは難しい。 ・ロウが固まってしまう。 ・難しい。 ・難しいけど、楽しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当班に入り、制作の補助を行う。 ・火傷しないように注意する。 ・色付けに入る前にロウの入れ残しがないか確認する。

	4、色付けをする。 ・染料またはアクリル絵具で色を付ける。	・紙が破けてしまった。 ・手に染料がついてしまった。 ・色ムラができてしまう。	・各班で必要な色を確認する。
まとめ 15分	5、片付け ・終わった班から片付けをし、手を洗う。 5、感想発表 ・制作してみたの感想を発表する。	・作ってみて楽しかった。 ・ロウ入れを失敗してしまった。 ・今度は大きいものを作りたい。	・道具がすべて返却されているか確認する。

第2章 授業記録

授業状況を以下の表にまとめた。

授業テーマ	ねふた出前授業 ―だるまねふた教室―		
実施日	平成23年6月3日、10日、17日（金）		
実施時間	3、4時間目（1時間45分）		
実施学校・学年	青森県弘前市立北小学校 第4学年		
授業者	山内勇輝、鎌田沙穂	合計2名	
授業補助	大野、平根、清藤、安達、小笠原、沼田、佐々木、成田、遠藤、工藤	合計10名	
実施した授業内容 《ダルマねふたの制作》 Ⅰ. ねふた・ねふたの説明、骨組みづくり（6/3） Ⅱ. 紙はり（6/10） Ⅲ. 絵付け（墨書き、ロウ書き、色付け）（6/17）			

各回の授業については以下の通りである。

第1回 ねぶた・ねぶたの説明、骨組みづくり

【ねらい】骨組みの制作を通して、平面から立体への起こしかたを知る。

【場所】 体育館

〈導入〉

1. 「弘前ねぶた」「青森ねぶた」のクイズを交え、伝統文化の技の違いを知らせ、そしてだるまねぶたの制作の意義を学ばせた。



〈展開〉

2. 実物を通して、制作過程である、骨組み紙貼り・絵付けの順序を説明をし、全般的な流れを知ってもらった。



3. 骨組みには欠かせない、針金と針金を固定する、糸の巻き方を練習した。

(学校教員、保護者も共に練習を行なった)

初めは授業者が、針金と糸を扮して、木の棒とロープを使い、巻き方の説明をし、その後グループごとに授業補助員がグループに入り、児童と共に練習を行なった。



4. グループごとに分かれ作業を開始した、骨組みである、各パーツの接合を行なう。

(グループごとに授業補助員と保護者が入り、児童の制作の補助をした。授業者は全体を見まわる)



第1回の授業では、想定していた時間よりも早く制作を終える班も多く、全ての班が時間内に作業を終えることができた。班によって、骨組みの出来には差が見られたものの、楽しみな

がら作業を行う姿が見られた。

第2回 紙貼り

【ねらい】 組ねふたの制作過程である紙はりを体験する。

【場所】 オープンスペース

〈導入〉

1.骨組みへの紙の貼り方を、授業者がや実際の骨組みと紙を使いやって見せた。



〈展開〉

2. グループごとに分かれ作業を開始した。(グループごとに授業補助員と保護者が入り、児童の制作の補助をした。授業者は全体を見まわる)



骨組みの一マスごと、木工用ボンドを塗り、一枚ずつ紙を貼っていく。

グループにより進度が違うため、授業補助員が遅れているグループは紙貼りの手伝いも行なった。



第2回の授業では時間内に終わらせることのできなかつた班が数班あり、放課後も制作を行った。紙はりでは骨組みと台が接着されている、一番下のマスが貼りにくいという声が多く聞こえた。マスに綺麗に紙を貼ることができず、「難しい」という声も多く聞こえた。

第3回 絵付け（墨書き、ロウ書き、色付け）

【ねらい】 だるまねふたの絵付けを通し、ねふたに対する興味・関心を高める。

【場所】 オープンスペース

〈導入〉

1. 授業者が全体で、ねふたへの絵付けの順序を説明し、中でも難しいロウの塗り方を実験を交えて指導を行なった。



〈展開〉

2. グループごとに分かれ、墨入れ、ロウ書き、色塗りの順に、塗っていった。

(グループごとに授業補助員と保護者が入り、児童の制作の補助をした。授業者は全体を見まわる)



第3回は、下絵、墨入れ、ロウ書き、色塗り、と工程が多かったため、時間内に終わらせることのできた班はなく、全ての班が放課後も制作を行った。絵筆等の用具が足りず、班で一人ずつしか作業ができないという状態も見られ、準備不足が感じられた。また、ホットプレート（北小学校備品）を用いてロウを溶かしたが、電気のブレーカーが落ちる場面があったため、ホットプレートの台数を減らすなどして対応を行った。放課後1時間半程度、作業を行ったところで全ての班が制作を終わらせることができ、後日大学生が担ぎ棒をつけることで完成した。

第3章 子どもの意識変化調査

実験授業のカリキュラム評価データの一つとして、授業前・後の意識変化を調査した。以下は、その結果と考察である。各調査は、実施前後2週間以内で行った。

第1節 事前アンケート調査結果

事前アンケートの調査結果は以下の通りである。

1、製作経験の有無

	有		無	
	(人)	(%)	(人)	(%)
男子	25	59.5	17	40.5
女子	15	55.6	12	44.4
合計	40	58.0	29	42.0

2、経験内容（複数回答可）

	骨組み		紙貼り		墨入れ		ロウ入れ		色つけ		ねぶた台		その他	
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
男子	2	8.0	5	20.0	7	28.0	5	20.0	16	64.0	1	4.0	11	44.0
女子	0	0.0	2	13.3	2	13.3	0	0.0	4	26.7	0	0.0	12	80.0
合計	2	5.0	7	17.5	9	22.5	5	12.5	20	50.0	1	2.5	23	57.5

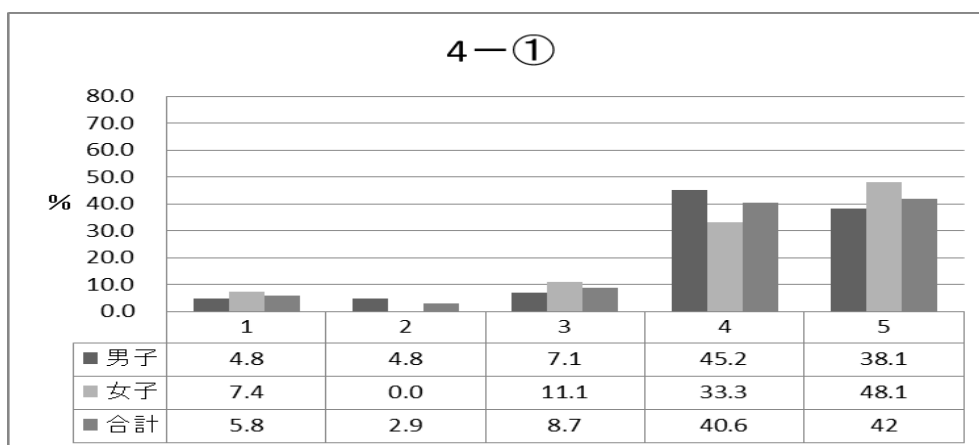
3、「弘前ねぶたまつり」への参加の有無（小学校入学以降）

	有		無	
	(人)	(%)	(人)	(%)
男子	24	60.0	16	40.0
女子	14	51.9	13	48.1
合計	38	56.7	29	43.3

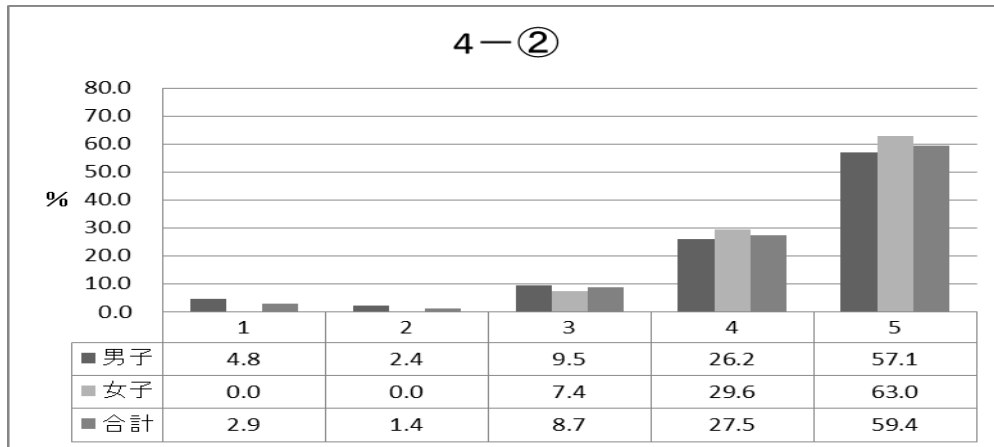
4、ねぶた制作への意識

（1＝そう思わない、2＝どちらかといえばそう思わない、3＝どちらでもない、4＝どちらかといえばそう思う、5＝強くそう思う）

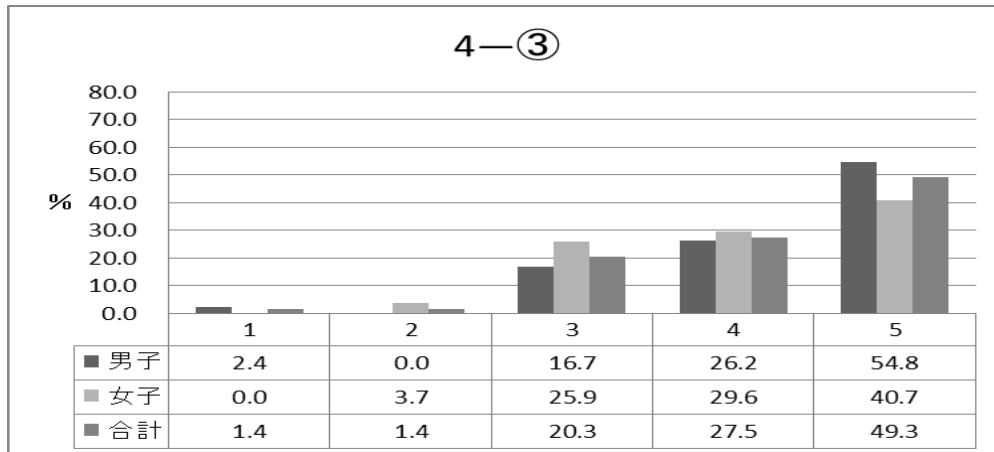
①ねぶたの制作や、そのお手伝いをしたいと思う。



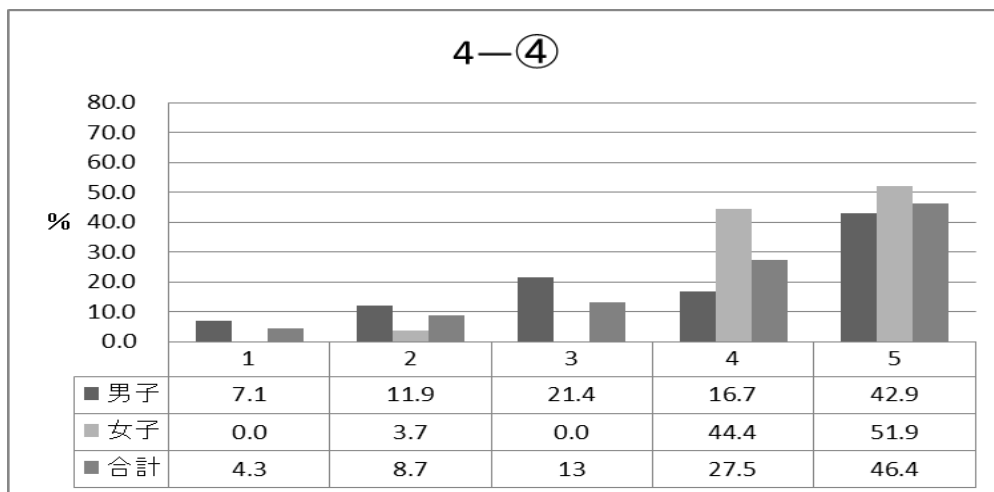
②、ねぶたのせい作や、そのお手つだいをすることはすばらしく、楽しいと思う。



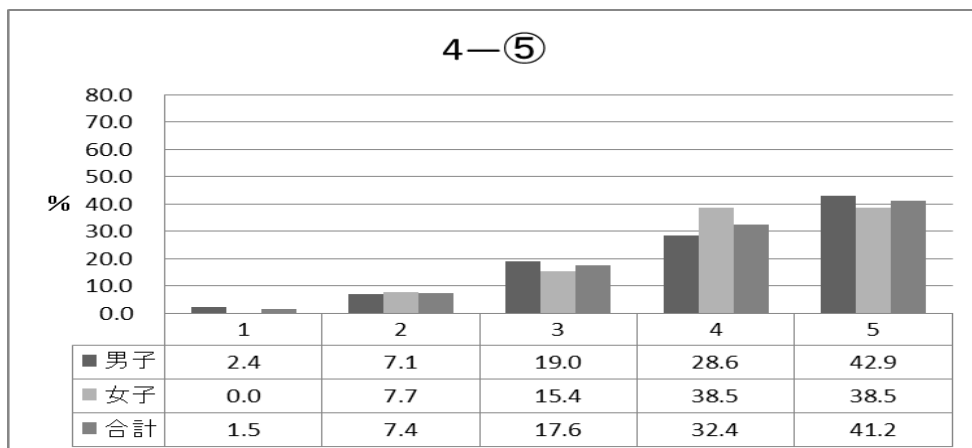
③ねぶたのほね組みをすることは楽しいと思う。



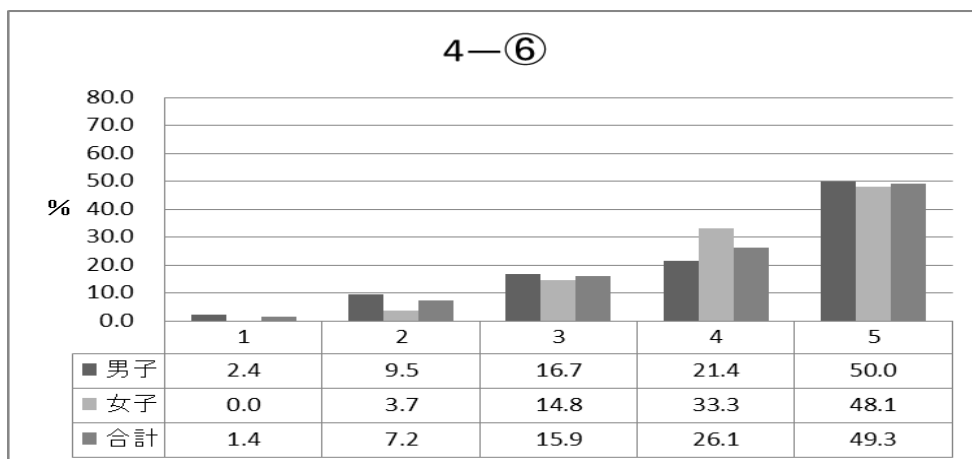
④ねぶたの紙はりをすることは楽しいと思う。



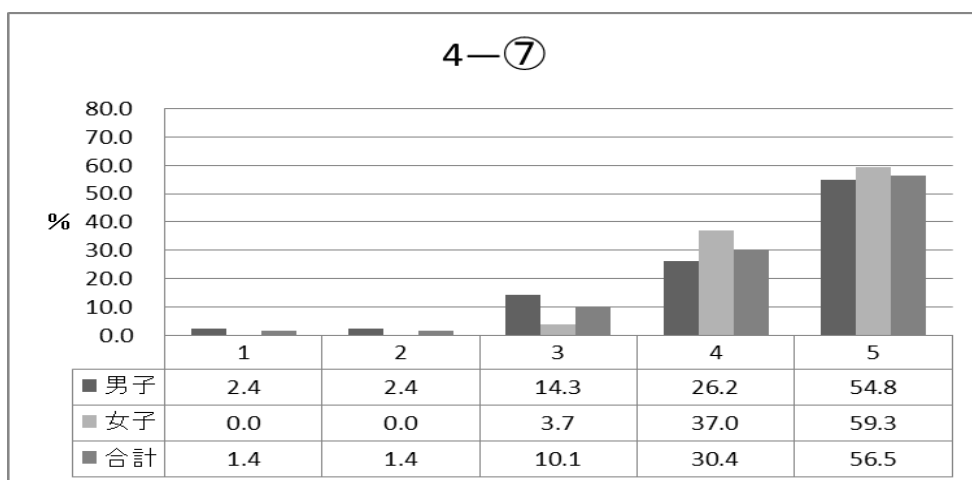
⑤ねぶたにすみ書きをすることは楽しいと思う。



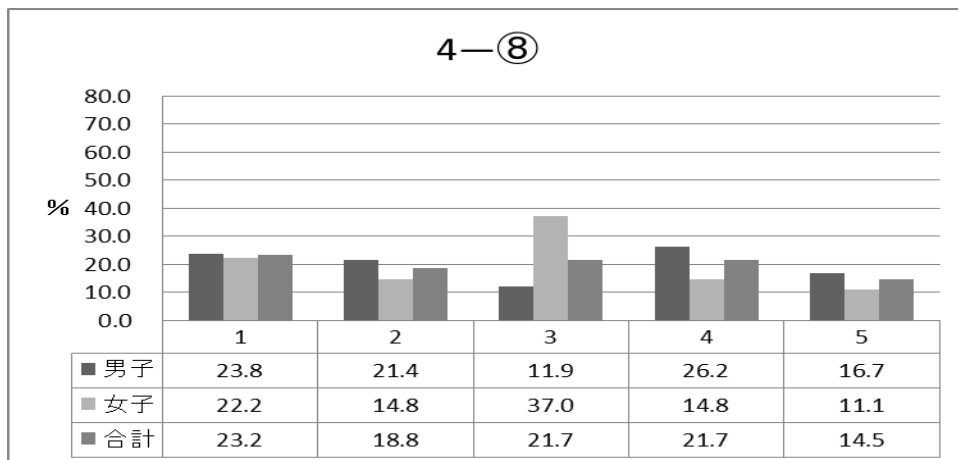
⑥ねぶたにロウ入れをすることは楽しいと思う。



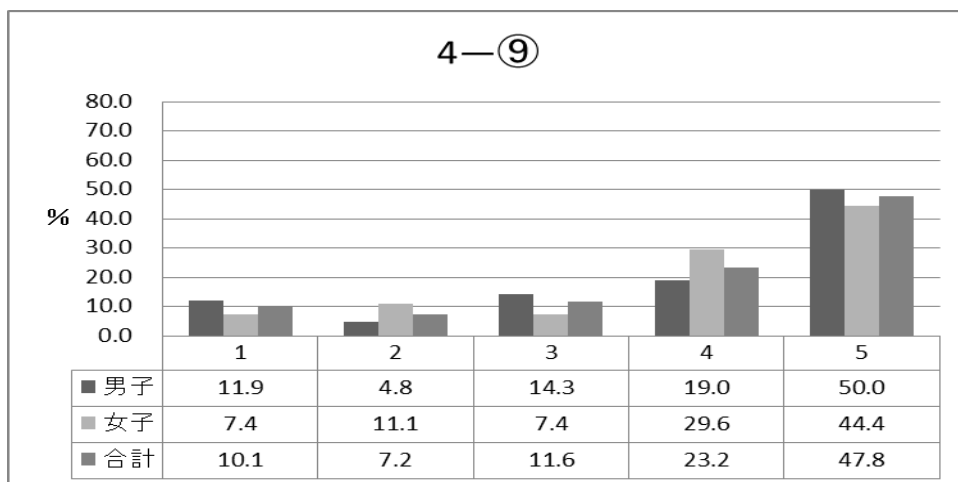
⑦ねぶたに色つけをすることは楽しいと思う。



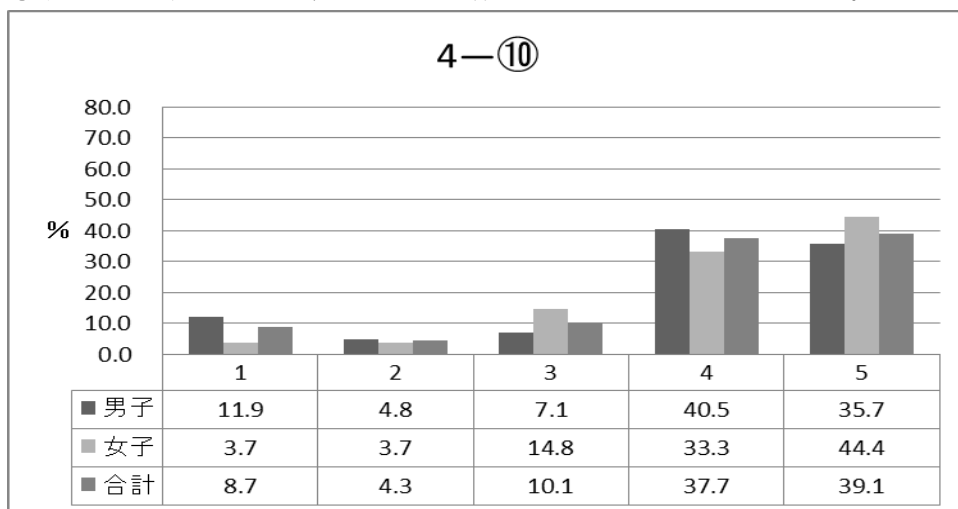
⑧しょう来、「ねぶた絵し」や「ねぶた組し」になってみたいと思う。



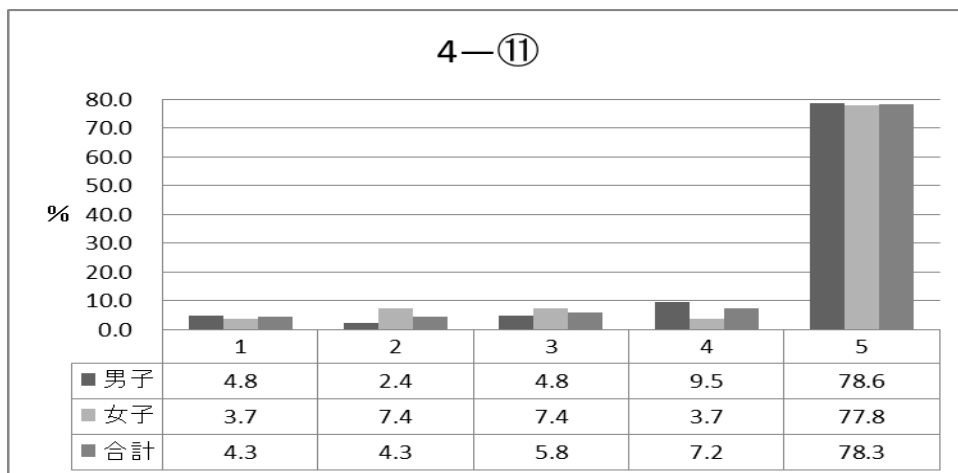
⑨学校のじゅ業や行事で、ねぶた祭りを取り入れた方がよいと思う。



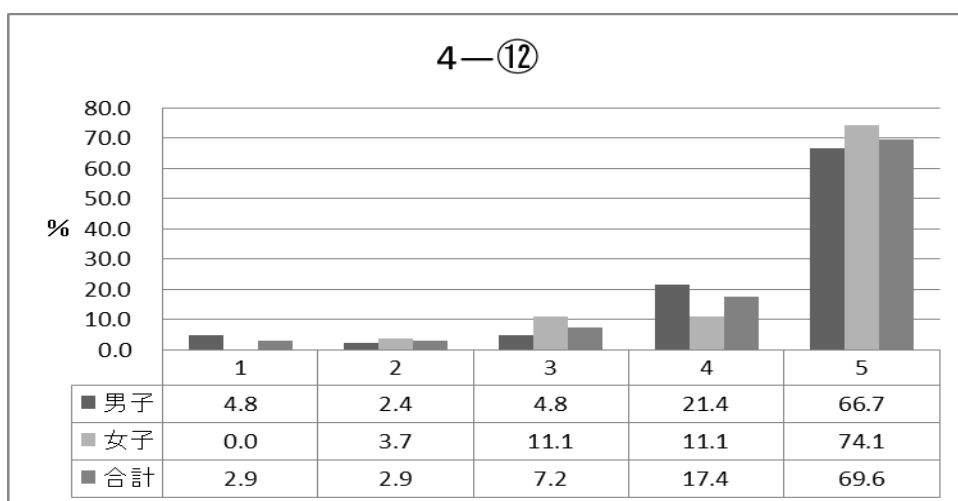
⑩学校のじゅ業や行事で、ねぶたの制作を取り入れた方がよいと思う。



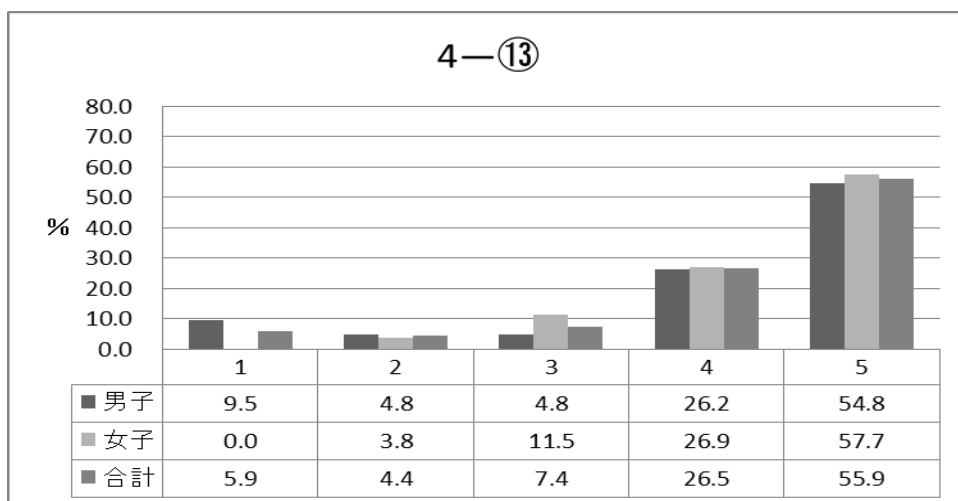
⑪古くからつたわるお祭りを大切にするひつようがあると思う。



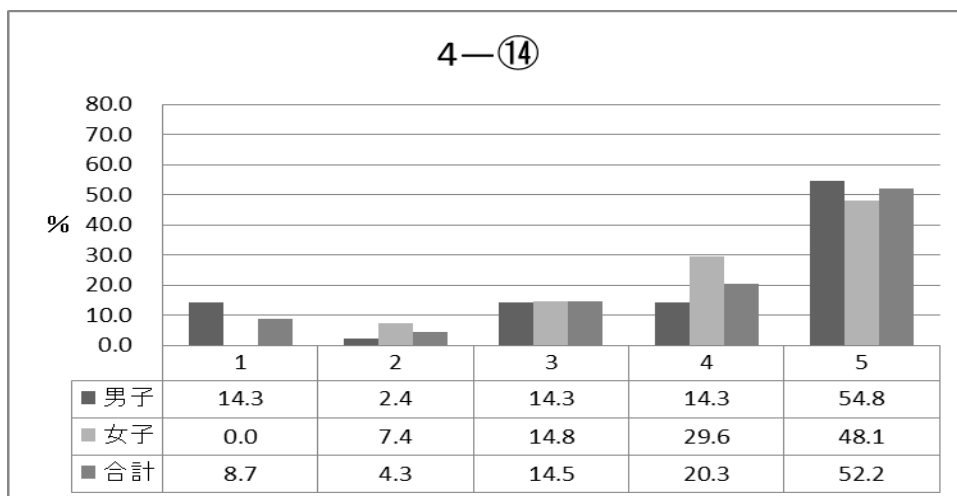
⑫古くからつたわるお祭りを、つたえていくひつようがあると思う。



⑬わたしは、ねふたが好きだ。



⑭「弘前ねぶたまつり（8月1日～7日）」にさんかしたいと思う。



第2節 事後アンケート結果

事後アンケートの結果は以下の通りである。なお、「2」の調査項目は事前アンケートの「4」の項目と共通である。

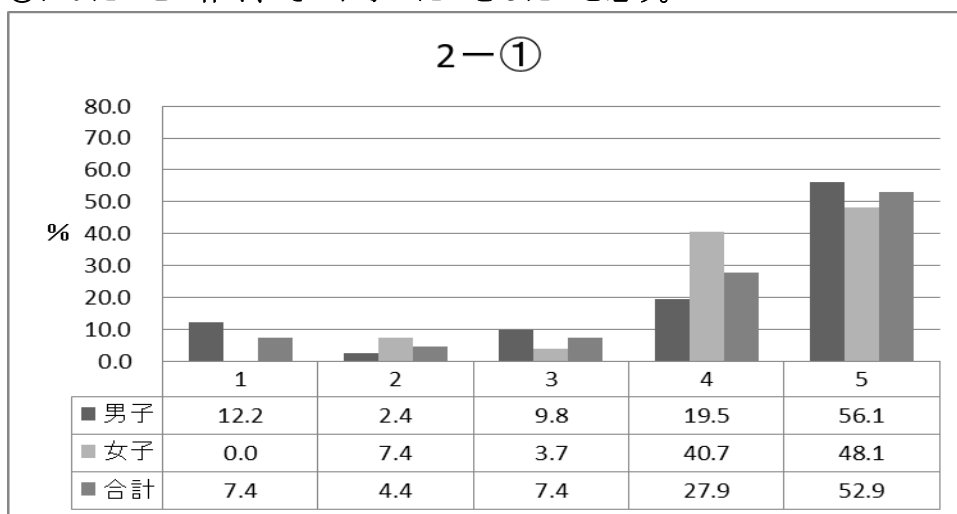
1、「弘前ねぶたまつり」への参加の有無（小学校入学以降）

	有		無	
	(人)	(%)	(人)	(%)
男子	24	58.5	17	41.5
女子	12	44.4	15	55.6
合計	36	52.9	32	47.1

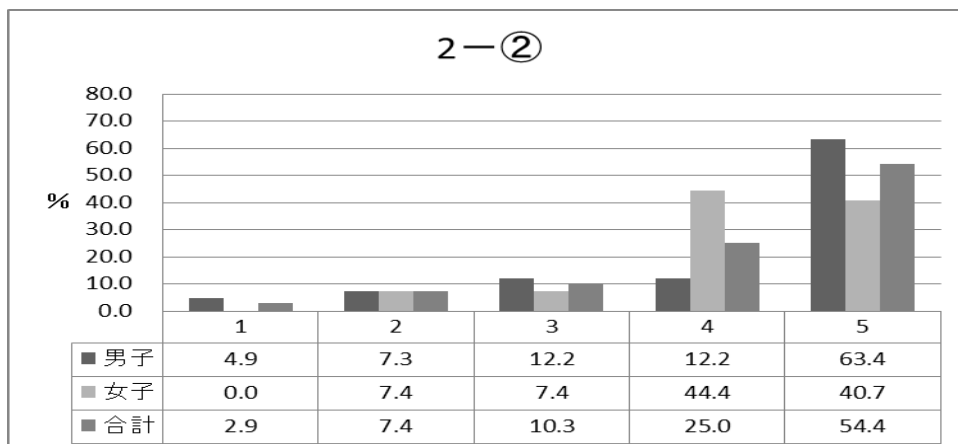
2、ねぶた制作の意識

（1＝そう思わない、2＝どちらかといえばそう思わない、3＝どちらでもない、4＝どちらかといえばそう思う、5＝強くそう思う）

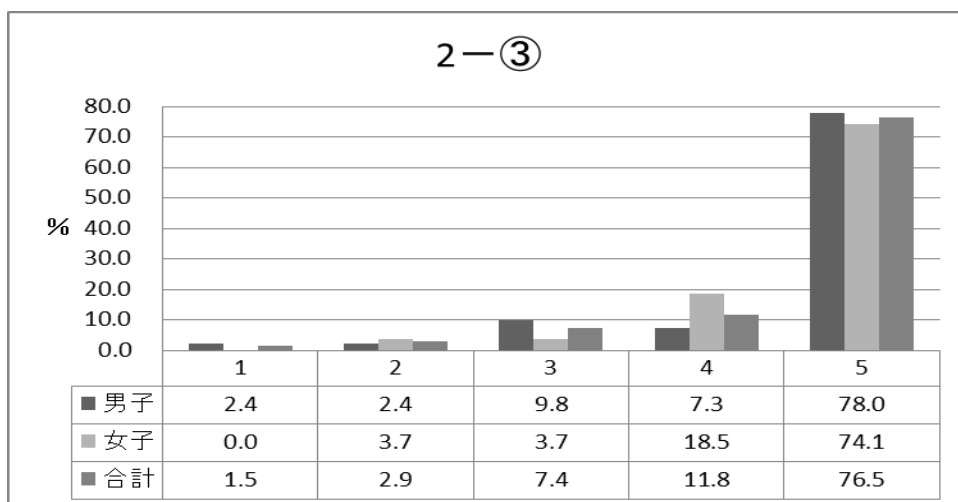
①ねぶたのせい作や、そのお手つだいをしたいと思う。



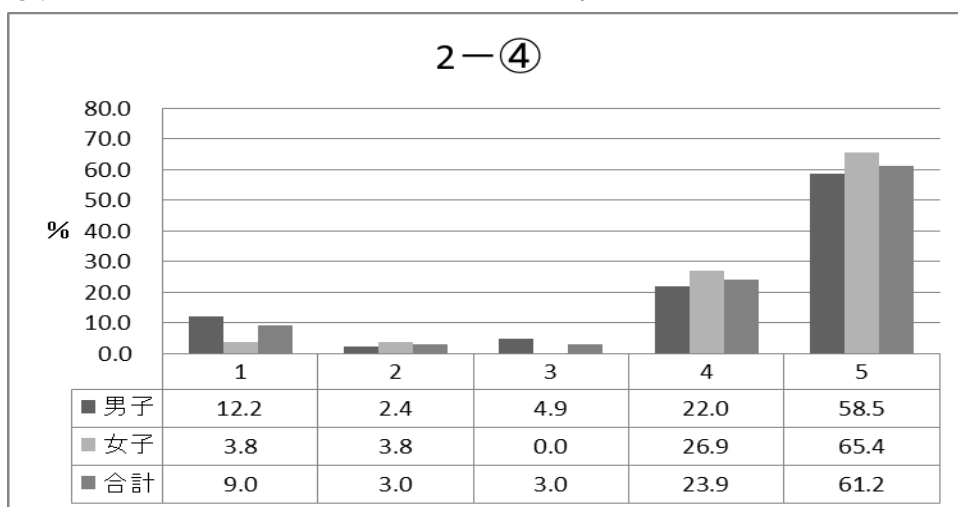
②、ねぶたのせい作や、そのお手つだいをすることはすばらしく、楽しいと思う。



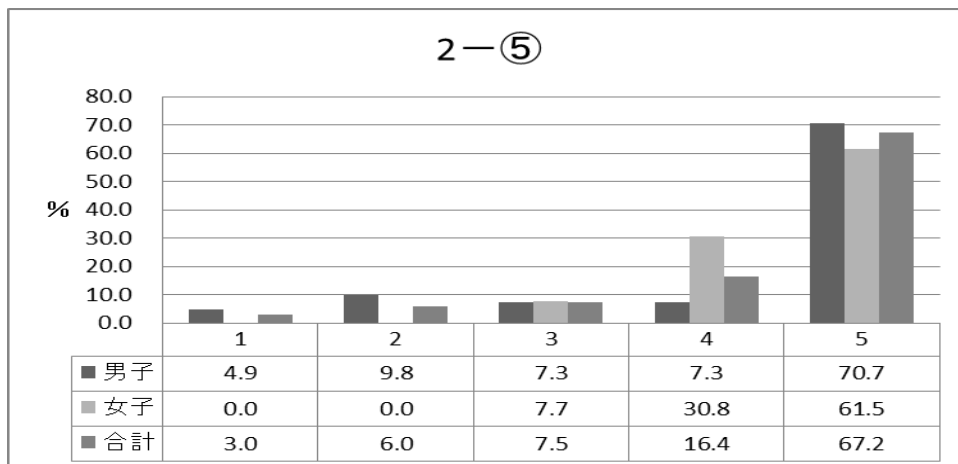
③、ねぶたのほね組みをすることは楽しいと思う。



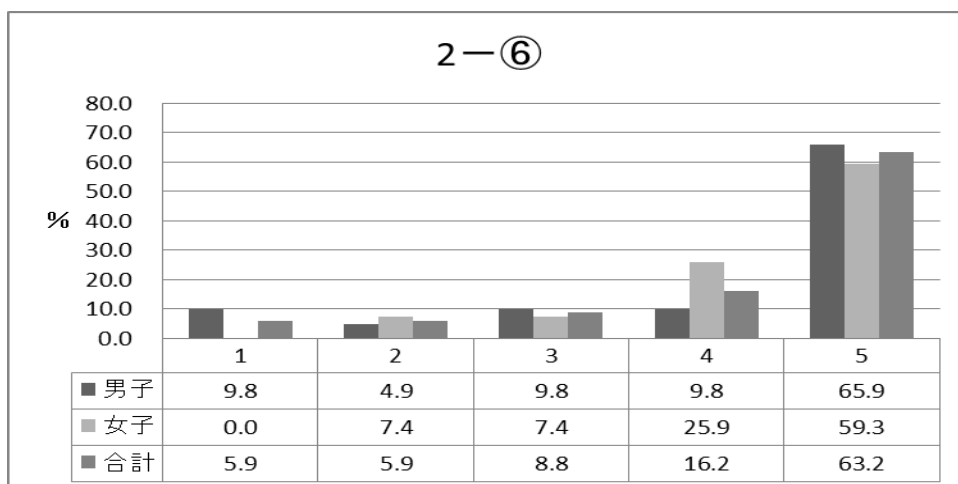
④、ねぶたの紙はりをすることは楽しいと思う。



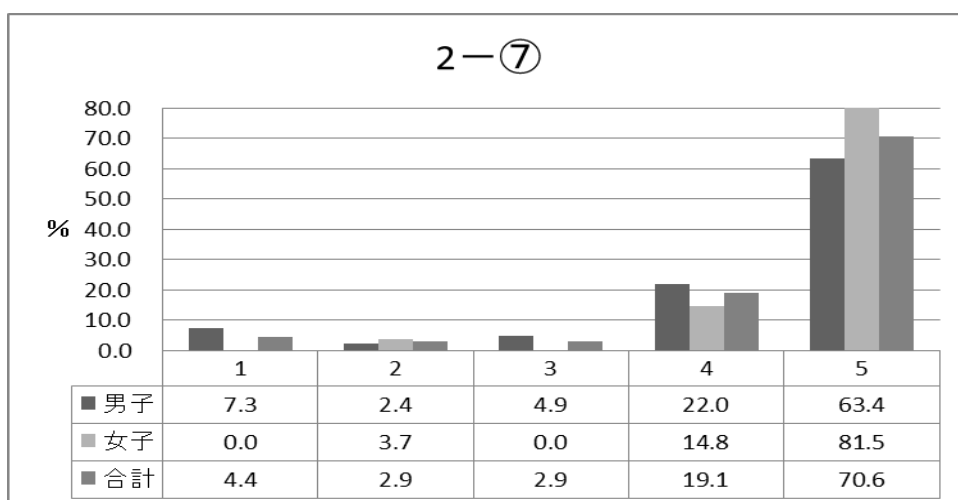
⑤、ねぶたにすみ書きをすることは楽しいと思う。



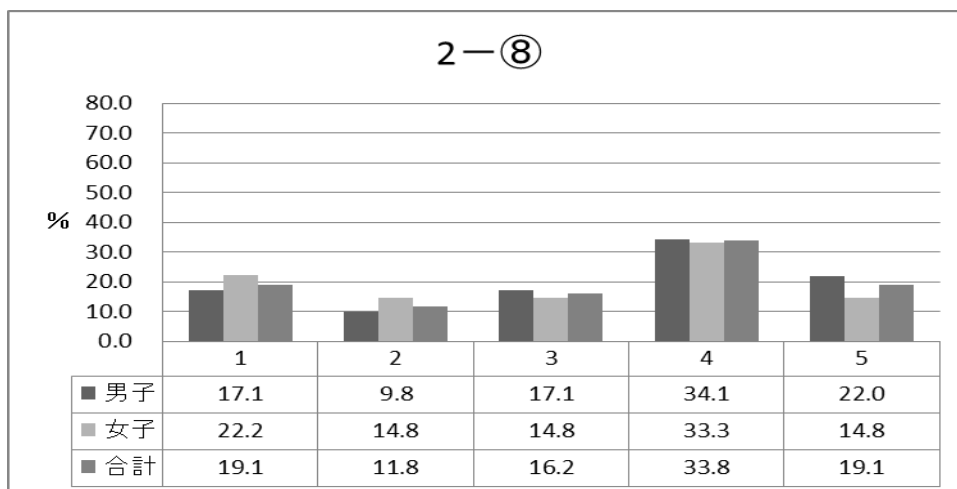
⑥、ねぶたにロウ入れをすることは楽しいと思う。



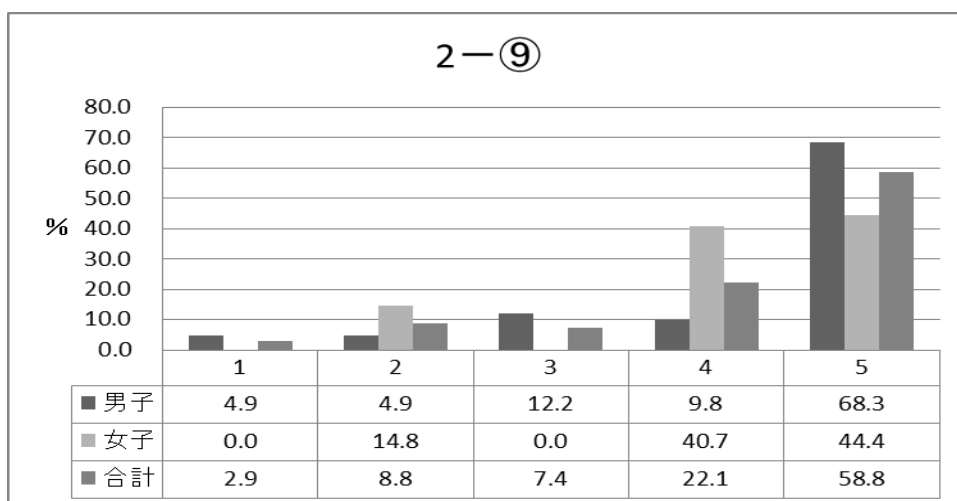
⑦、ねぶたに色つけをすることは楽しいと思う。



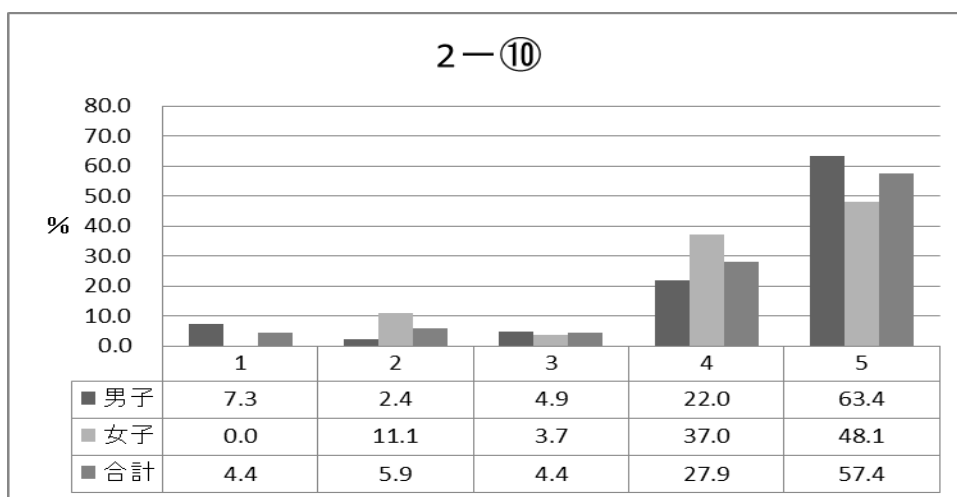
⑧、しょう来、「ねぶた絵し」や「ねぶた組し」になってみたいと思う。



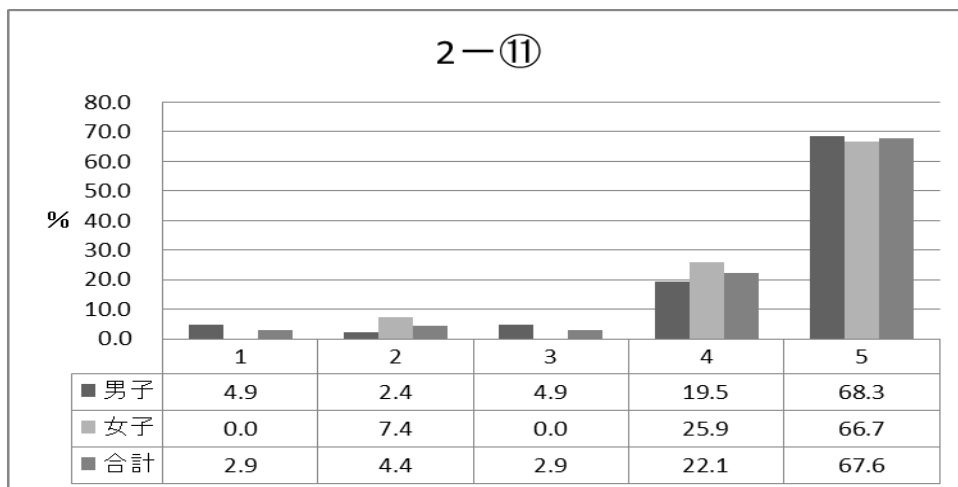
⑨、学校のじゅ業や行事で、ねぶた祭りを取り入れた方がよいと思う。



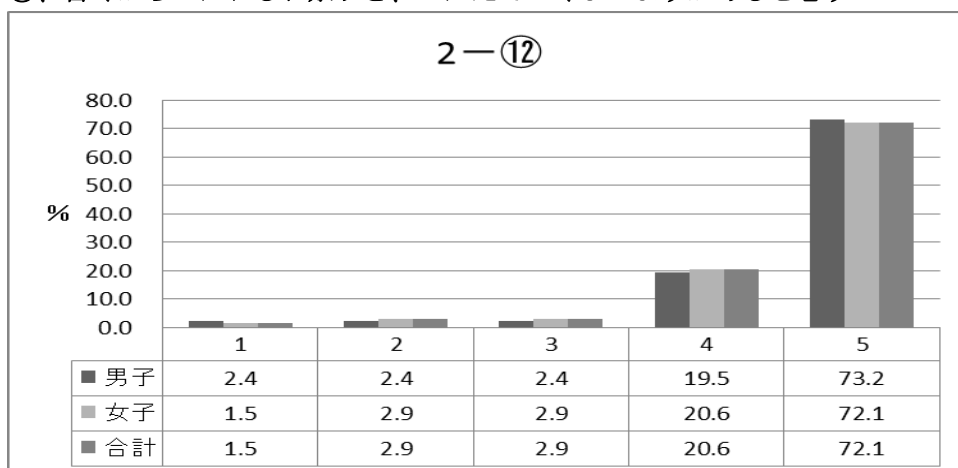
⑩、学校のじゅ業や行事で、ねぶたの制作を取り入れた方がよいと思う。



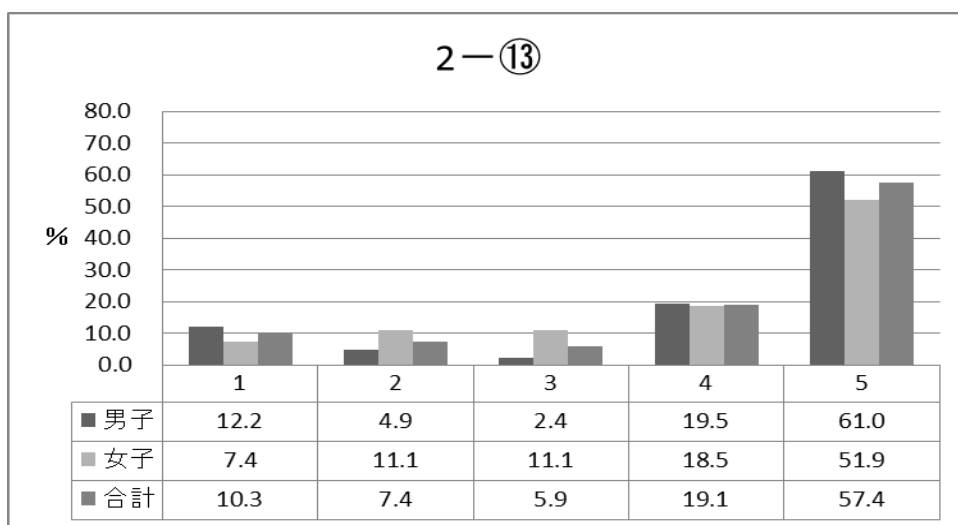
⑪、古くからつたわるお祭りを大切にするひつようがあると思う。



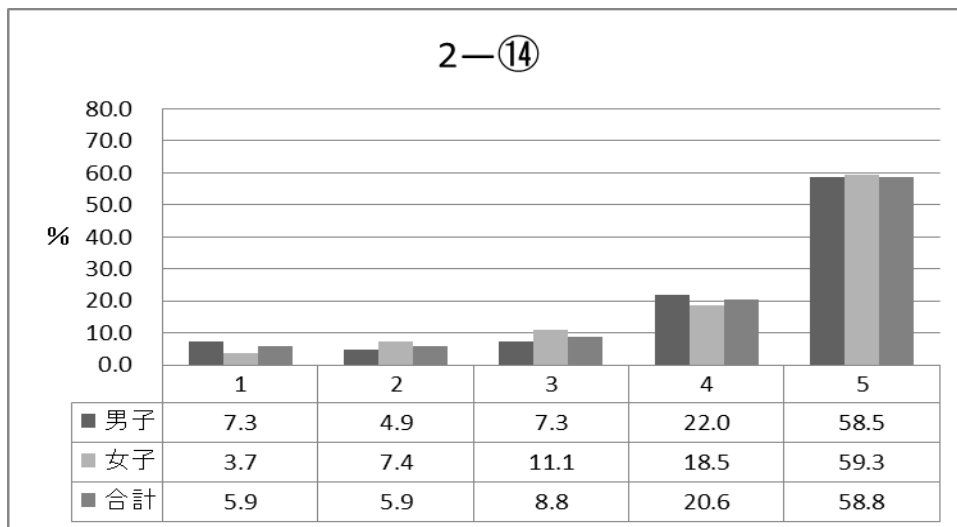
⑫、古くからつたわるお祭りを、つたえていくひつようがあると思う



⑬、わたしは、ねぷたが好きだ。



⑭、「弘前ねぶたまつり（8月1日～7日）」にさんかしたいと思う。



第3節 考察

弘前市立北小学校は毎年「ねぶた集会」を行っており、児童は入学時からねぶたに触れる機会が多いためか、事前アンケートの結果からねぶたに対して肯定的な意識が強いことがうかがえる。制作経験の「その他」の項目では「ぼたん絵」と答えた児童がほとんどであり、これは「ねぶた集会」における第3学年の制作担当が「ぼたん絵」であるためであると推測される。

事前アンケートの時点で肯定的意識が強かったことから、事後アンケートでは平均値には大きな変化は見られなかったものの、多くの項目で「5（強くそう思う）」と回答する児童が増え、肯定的な意識が強まったことがうかがえる。特に③～⑦の制作を楽しいと思うかに関する項目では、その傾向が強く見られ、多くの児童が制作を楽しんでできたことがわかる。事後アンケートの自由記入欄にも「楽しかった」「難しかったけど、おもしろかった」「またやりたい」という記入が多く見られた。また、ねぶたの学校への取り入れに関する項目も同様であり、児童が学校でねぶたを実施することを望んでいる様子が見えられた。

一方、伝統文化の伝承等に関する項目では、あまり変化が見られなかった。これは、今回の授業が制作中心であったことも一因であると考えられ、このような意識を育てるためには、祭りの歴史や、運行の実施等が必要であると考えられる。「弘前ねぶたまつり」への参加に関する項目では、参加経験のない児童の意識が、僅かではあるが肯定的に変化した。実際に体験することで、祭りへの意識の変化の切っ掛けになったのではないかと考えられる。

今回制作した「だるまねぶた」は平成23年度の「ねぶた集会」で前ねぶたとして使用され、その後、北小学校の玄関、体育館に展示されている。尚、今回の材料費は、その多くを科研費に依った。

今回の「だるまねぶた」は教材としての価値は高く、子ども達に意識の変化が見られ、関係者にも好評であった。本カリキュラムと教材はその価値が認められたと思われるが、この実践を学校で実施するならば、先生方の負担が大きく困難と思われる。

複数人で制作するねぶた・ねぶたは、その制作に相当な時間と材料が必要であり、どこの学

校でも取り組めるというものではない。ただし、条件が揃うならば、子ども達が感動する組ねぶた・ねぶたの初歩のもの制作が可能であることの一側面を証明したと言える。

「ねぶたせい作とねぶた祭り」にかんするアンケート

北小ねぶたせい作に入る前に、次のアンケートに答えてください。次の時間を楽しみに待っていてください。

弘前大学教育学部 ねぶたプロジェクト

クラス _____ 男・女 _____

自分の意見に当てはまるものに○をしてください。

1、あなたは、ねぶたや前ねぶたのせい作や、そのお手つだいをしたことがありますか。

ア、ある →2へ進んでください イ、ない →3へ進んでください

2、1で「ア、ある」と答えた方にお聞きします。次のうち、あなたがしたことのあるものはどれですか。当てはまるものすべてに○をしてください。

ア、ほね組みのせい作 イ、紙はり ウ、すみ書き エ、ロウ入れ オ、色つけ
カ、ねぶたをのせる台のせい作 キ、その他() →3へ進んでください

3、あなたは、小学校に入学してから「弘前ねぶたまつり（8月1日～7日）」にさんかしましたか。

ア、さんかした イ、さんかしていない →4へ進んでください

4、ここから下のしつ問は、1～5のうち当てはまる番号に○をしてください。

(1=そう思わない、2=どちらかといえばそう思わない、3=どちらでもない、4=どちらかといえばそう思う、5=強くそう思う)

- | | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|---|
| ①、ねぶたのせい作や、そのお手つだいをしたいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②、ねぶたのせい作や、そのお手つだいをすることはすばらしく、楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③、ねぶたのほね組みを作ることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④、ねぶたの紙はりをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤、ねぶたにすみ書きをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥、ねぶたにロウ入れをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦、ねぶたに色つけをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧、しょう来、「ねぶた絵し」や「ねぶた組し」になってみたいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨、学校のじゅ業や行事で、ねぶた祭りを取り入れた方がよいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩、学校のじゅ業や行事で、ねぶたの制作を取り入れた方がよいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪、古くからつたわるお祭りを大切にするひつようがあると思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫、古くからつたわるお祭りを、つたえていくひつようがあると思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬、わたしは、ねぶたが好きだ。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑭、「弘前ねぶたまつり（8月1日～7日）」にさんかしたいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

「ねぶたせい作とねぶた祭り」にかんするアンケート（事後）

3回の「だるまねぶた教室」がおわりました。いかがでしたか？
さいごに、今の気持ちで、次のアンケートに答えてください。

弘前大学教育学部 ねぶたプロジェクト

クラス 男 ・ 女

自分の意見に当てはまるものに○をしてください。

1、あなたは、小学校に入学してから「弘前ねぶたまつり（8月1日～7日）」にさんかしましたか。

ア、さんかした イ、さんかしていない →2へ進んでください

2、ここから下のしつ問は、1～5のうち当てはまる番号に○をしてください。

（1＝そう思わない、2＝どちらかといえばそう思わない、3＝どちらでもない、4＝どちらかといえばそう思う、5＝強くそう思う）

- | | | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---|---|---|
| ①、ねぶたのせい作や、そのお手つだいをしたいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ②、ねぶたのせい作や、そのお手つだいをすることはすばらしく、楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③、ねぶたのほね組みを作ることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④、ねぶたの紙はりをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤、ねぶたにすみ書きをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥、ねぶたにロウ入れをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦、ねぶたに色つけをすることは楽しいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧、しょう来、「ねぶた絵し」や「ねぶた組し」になってみたいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨、学校のじゅ業や行事で、ねぶた祭りを取り入れた方がよいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩、学校のじゅ業や行事で、ねぶたの制作を取り入れた方がよいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪、古くからつたわるお祭りを大切にすひつようがあると思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫、古くからつたわるお祭りを、つたえていくひつようがあると思う | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬、わたしは、ねぶたが好きだ。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑭、「弘前ねぶたまつり（8月1日～7日）」にさんかしたいと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

3、「だるまねぶた教室」の感そうを自由に書いてください。
